

課題を明らかにし、情報共有の場を設定することで、全国の臨床研修体制構築の一助としていただくことである。卒前教育、専門研修、生涯教育とのシームレス化を意識し、相互に協力しながら活動していく。

副部長：石原慎，部会員：青松棟吉，石丸裕康，磯部真倫，伊野美幸，落合甲太，近藤昭信，高橋弘明，安井浩樹，担当理事：高橋誠

*1 Clinical Training Subcommittee

*2 Kayoko Matsushima

23. 専門研修部会^{*1}

土屋 静馬^{*2}（部会長・昭和大学）

専門研修部会は第21期より新たに卒前教育と卒後教育のシームレス化，特に「臨床研修」から「専門研修」が到達目標や研修体制の連続性を含め一貫した教育となることを目標として設置され，専門医教育委員会とともに活動している。この目標の達成のためには日本専門医機構や各専門学会との対話など様々な方策が考えられるが，本部会は専門研修システムの運営主体である基本領域の各学会との情報共有や相互交流の推進を主な活動の目標としている。主な活動内容・指針は以下の通りである。

1) 各領域の専門研修制度に関する情報収集

日本医学教育学会（本会）会員が所属する各専門学会（外科・内科・小児科領域等）の専門医制度における①アウトカム，②到達目標，③方略，④評価，⑤認定要件等について情報収集を行っている。また，特定の学会には教育に関するニーズ調査を行い，本会が協力できる領域を検討する。

2) 各専門学会との連携活動の推進

本会に所属し，かつ各専門学会の教育活動にて中心的役割を担う会員をキーパーソンとして，学術大会でのシンポジウムの開催，指導医講習

会を含めた教育的ワークショップを共催し，各学会の教育の先進的な取り組みの情報共有や本会の教育に関連する知識やスキルを共有する。

3) 本会内の活動

医学教育学的視点から見た「専門医教育の課題」の共有と解決に向けた方策の検討を本会学術大会，および学術誌上にて積極的に行う。特に，本会学術大会では部会企画ワークショップを開催し，多様な専門的背景を持つ本会会員が各自の専門領域を越え，専門医教育の課題の抽出と解決に向けた方策について討議している。2021年第53回学術大会では『各領域の「専門医教育」の未来を語ろう!! ―卒後教育のシームレス化を目指して，専門医教育の現状と課題を紐解き，未来を語る!』と題したワークショップを開催した。

今後，1)～2)の具体的な活動として，日本外科学会でのシンポジウムの開催，内科領域，産婦人科領域等の教育ニーズの調査を計画している。これらを含め本部会活動の進捗状況については，本部会HPおよび学会誌上にて報告する予定である。また，3)の学術大会での企画も継続する予定である。